



いきいき弥小っ子

今年度のキーワード「かかわる・かかわり」

◎学校評価第1回目アンケートの結果をお知らせします

1学期に実施した学校評価アンケート結果についてお知らせいたします。数値はアンケートそれぞれの項目に対して「そうだ」「どちらかというそうだ」と回答した、いわゆる肯定評価の割合となります。（分析については次項以降をご覧ください。）

学校評価アンケート(児童)

肯定評価(%) 目標85%

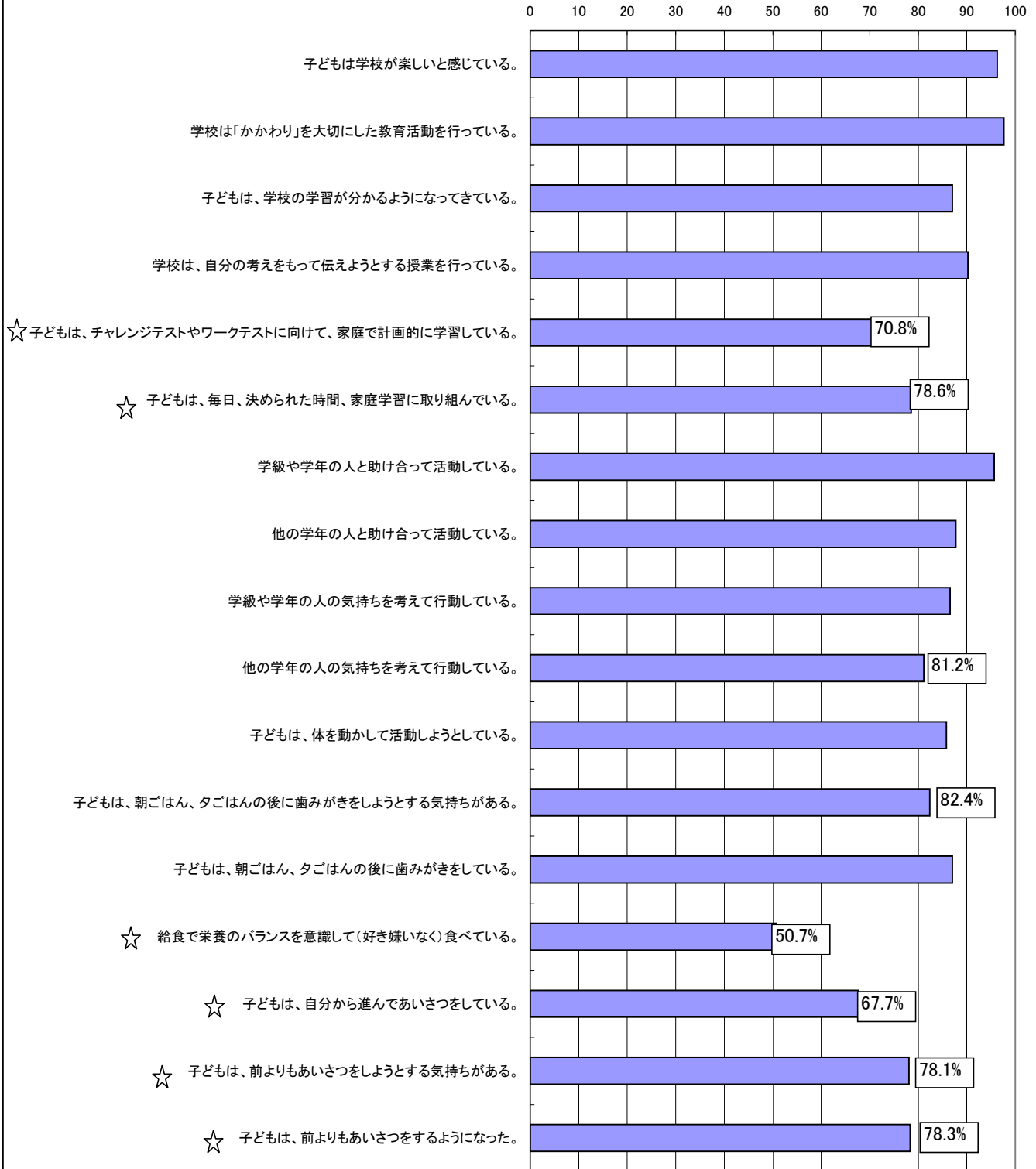
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100



学校評価アンケート(保護者)

肯定評価(%)

目標85%



<児童アンケートより>

「学校が楽しい」「かかわりを大切にする」子どもの割合が高いのはとてもうれしいことです。学校では、今年度の活動キーワードを「かかわる・かかわり」とし、様々な場面でかかわりを意識した活動を行っています。また、いろいろなアンケートや聴き取りを通して子どもたちの思いや悩みを知り、対応や指導が必要な場合はすぐに行うようにしています。これからも継続して取り組んでいきます。

「学習が分かる」は、肯定評価が90%を上回っています。学校では「分かった、できた」の声があがる授業を目指して、“かかわり合って学びを高める”ことに重点をおいた授業づくりに取り組んでいます。**「家庭学習への取組」**については、全体的には目標値を上回っています。細かく分析すると、取組への意識の差が見られます。11月の取組方法について、プロジェクトチームで検討しています。**「授業中、自分の考えを周りの友達に伝えようとしている」**については、83.5%と目標に届きませんでした。子どもたちが自分の考えを伝えられる学習形態や指導方法の更なる工夫を図り、職員の研修を進めていきます。

「助け合いや相手の気持ちを考える」ことも目標値の85%を上回っています。今後もなかよしペア活動の交流を意識した取組を進めていきます。

「歯みがき」については、昨年度より意識や態度が着実に伸びています。小中共通課題の「歯みがき習慣を身に付ける」を目指した取組を継続していきます。

「あいさつ」については、継続したあいさつ運動で意識を高めようとしているところです。人とかかわりを広げることで、自然にあいさつをする、あいさつをしないほうが恥ずかしいという気持ちをもたせていきたいと考えています。今後もさらに元気なあいさつができるように、取組を継続していきます。

<保護者アンケートより>

子どもたちと同じように**「学校が楽しい」「かかわりを大切にする」**の項目に高い評価をいただきました。今年度の活動キーワード「かかわる・かかわり」について、今後もその視点で保護者の皆様からも活動を見守っていただきたいと思います。

「家庭学習」については、「計画的に学習している」が70.8%、「決められた時間家庭学習に取り組んでいる」が78.6%と、子どもの評価とにやや開きがあります。学校では、学年×10分を目標に子どもたちを指導しています。家庭学習カードを工夫したり、子どもへの声かけや励ましを行ったりと粘り強く取り組んでいるところです。

「給食でのバランスよい食事」については、50.7%の評価と低かったですが、学校では給食時の食育指導を適宜行い、子どもの意識を高めているところです。給食の残量も以前より減ってきています。ご家庭でも、家族団らんの中で給食の話題も取り上げていただけるとありがたいです。

「あいさつ」については、学校での子どもたちのあいさつは次第によくなってきました。保護者の皆様の評価は67.7%と低いですが、**「前よりもあいさつをしようとする気持ちがある」**については、8割近い評価をいただきました。あいさつが日常化するように、自然なあいさつが交わしあえるように、これからも粘り強い取組を進めていきます。

「家庭学習」「バランスよい食事」「あいさつ」について、皆様の協力やご家庭での指導をいただきながら、学校と家庭が連携してよい方向に進めていきたいと考えています。

アンケートでは、貴重なご意見をありがとうございました。みなさんからいただいたご意見は、2学期からの教育活動に生かすようにしております。今回は全体にかかわるご意見を紹介いたします。

(個別のものについては、学級担任から連絡をさせていただきます。)

分類	ご意見の要旨	学校の方針
安全	セーフティスタッフは弥彦村もいますか？	弥彦村に100名を越えるセーフティスタッフがいっぱいいます。緑のスタッフジャンパーやベストを着用してのながらパトロールを行っていますが、弥彦小は徒歩による登下校児童が少ないため、あまり見かけないのかもしれませんが、地域の力で弥彦村の子どもたちを見守ってくださっています。
あいさつ	学校帰りにあいさつしても、返事をしない大人がいて残念。校内で6年生が大きな声であいさつしてくれてうれしかった。	あいさつについては、弥彦小の子どもたちに次のような現状があります。 ・あいさつができる子とできない子の差が大きい。 ・あいさつができる子も進んでとなると割合が下がる。 ・登校班の集合などでのあいさつは消極的である。 ・来校者へのあいさつができる子が少ない。 このような現状を踏まえ、あいさつを小学校だけではなく、中学校や地域全体でよくしていく意識をみんなでもちたいと考えています。2学期以降も「あいさつ運動」を中心とした取組で、あいさつの意識化を図っていきます。村広報でも呼びかけましたが、「あいさつの輪を村全体に広げる」ために共に取り組んでいただきたいと思います。 根っこプロジェクトでも、あいさつをよくしていくために、いろいろな角度から原因を考え、改善できるところを改善していきます。大人が先にあいさつをすると、子どもたちもあいさつがきちんとできます。「なかなかあいさつが帰ってこない。」「元気がない。」と感じるかもしれませんが、大人が声をかけ続け、「あいさつはするものなんだ。しないほうが恥ずかしい。」という気持ちをもたせていきます。 あいさつは、今後も粘り強く取り組んでいきます。皆様からも、より一層のご協力をお願いいたします。
	校長に元気にあいさつする姿がよい。大人も子どもと一緒にがんばりたい。	
	人から言われたらあいさつするが、自分からあいさつすることは定着していない。	
	あいさつの定着が今ひとつ。自分からあいさつできるようにしていきたい。	
	あいさつを進んでする子が少ない。大人から声をかけても無視されてがっかり。	
	地域の役員として登校時にあいさつをしたが、子どもたちからあいさつがかえってこない。	
思いやり	あいさつをする子が少ない。1、2年前と比べさらに少なくなっているようだ。	いじめ、思いやりについては下のよう学校全体で取り組んでいます。
	いじめ、思いやりについて学校全体で取り組んでほしい。	
連携	小学校と保育園の行事が重なった。連携をしっかりとってほしい。	1月末頃に、次年度の村行事の打合せ会があります。小、中、社会体育、公民館、美術館などの行事の調整を行います。その際に保育園とも行事の打合せをします。
交流活動	同じ学年やなかよしペアの学年以外の活動や行動はよく分からない。	学校だより等で、いろいろな学年の交流活動を積極的に紹介していきます。 学校ブログもどうぞ、ご覧ください。